

新県立博物館の収支見込みに関する資料

(平成23年12月8日 県議会生活文化環境常任委員会説明資料)

1 作成の考え方

開館後の年間運営費については、「新県立博物館基本計画（平成20年12月）」において、人件費（2億円）、事業費（1億円）、管理費（1億5千万円）をあわせて4億5千万円とし、県費負担を前提に計画しました。

また、本年6月、鈴木知事就任後に行われた新博物館整備計画の検証において、“段階的な増収も盛り込んだ収入計画を立案し、年間の運営費4億5千万円に対する県費負担について、2割程度削減すること”という方針を示しました。

整備についても進捗しており、運営についての検討も進めていることから、上記を踏まえた現時点における収支計画案を作成し、今後の運営の安定化に向けた収入確保のための取組を明確にすることとしました。

このうち、人件費については、県全体の人事計画の中で対応、考慮することが必要であるため、まず、事業費と管理費について、収支計画(見込)を立案しました。

(1) 収入

県費負担の2割削減を達成するために、多様な収入を獲得することにより削減分を補うこととし、これを前提に収入計画を作成しました。

(2) 支出

現時点で維持管理費、一般管理費について、想定できる支出項目を挙げつつ、金額としては、同規模の他館の実績や個々の見積もりをもとに設定し、支出計画を作成しました。なお、支出については、計画段階で減額するのではなく、執行段階でできるだけ節減を図ることとしました。

2 今後の取組

(1) 多様な収入確保のためのしくみづくり

収支計画に挙げた多様な収入を受け入れるためのしくみや制度の検討、整備を進めます。

(2) 寄付金等の取扱い

開館前から寄付金等を集め、これら博物館の努力により得た収入について、基金（想定としては、文化振興基金）に積み立てるなどの方法を検討します。

3 収入

項目	収入内容（積算の考え方）	金額(千円)
観覧料収入	- 基本展示観覧料 平均一人 300 円～700 円 有料入場者数 30,000 人～70,000 人 - テーマ展示観覧料 平均一人 500 円 20,000 人 - パスポート 1500 円程度 200 人	30,000
事業等収入	- 行事参加負担金 館主催講座等の参加者負担金(材料費等の負担) - 受託事業収入 地域課題等の調査研究受託料 研究機器を活用した分析、資料のくん蒸受託料 営利目的等の相談にかかる収入 - 物品販売収入 図録などの図書、ミュージアムグッズなどにかかる販売収入 - 資料利用収入 営利目的の資料貸出にかかる収入 画像等の利用にかかる収入 - 施設利用収入 ミュージアムショップ、自動販売機事業者からの収入、会議室、展示室等の施設利用収入 - 広告、協賛収入 展示等にかかるネーミングライツ、協賛収入 印刷物、WEB上での広告、協賛にかかる収入 - 助成金、補助金 事業に関する助成金、補助金 研究費に関する外部資金	12,000
寄付金	・賛助会員の年間会費（100 千円／年、80 社）	8,000
小計		50,000
県費		200,000
合計		250,000

4 支出

項目	支出内容（積算の考え方）	金額(千円)
調査研究費	科研費研究機関に指定されている県立博物館の常勤専門職員一人当たりの調査研究費を参考に設定	4,200
資料収集・管理費	・資料収集費 ・資料くん蒸(10回程度) ・館内保存環境整備(館内くん蒸など) ・資料の保存修復(5件程度)	4,500
交流創造活動費	・閲覧レファレンス活動(図書購入費等) ・情報受発信活動(情報システム関連費等) ・学習支援活動(講座等実施費等) ※他館の実績をもとに設定	12,000
展示の企画運用費	・基本展示の企画運用(展示替え、保守) ・トピック展示の開催(7回程度) ・自主企画展の開催(3回程度) ・全国巡回展の開催(1回程度) ・県民交流展の開催(5回程度)	64,000
アウトリーチ活動費	・移動展(3回程度) ・学校展(8校程度)	12,800
広報宣伝費	・収入予定総額(50,000千円)の5%程度	2,500
小計		100,000
光熱水費	同規模程度他館及び県立美術館の光熱水費の㎡単価と新博物館の施設設備の効率性を参考に4,100千円/㎡と設定	41,000
施設維持保守管理費	同規模程度他館及び県立美術館の施設維持保守管理費の㎡単価と新博物館の施設設備の状況を参考に、を9,200円/㎡と設定	92,000
一般管理費・事務費	同規模程度他館及び県立美術館の一般管理費、事務費の㎡単価を参考に1,700円/㎡と設定	17,000
小計		150,000
合計		250,000

